



九州ゴルフ 100 年祭 平成 25 年度 第 3 回九州ミッドアマチュア選手権競技

競技報告 (2013/10/09-10)

写真と記事 : GUK・M. Kikutake

通算4アンダー 140 ストローク

大塚 覚 (鹿児島国際) 逆転で初優勝

競技は 10 日、熊本県菊池市のくまもと中央カントリークラブ (7193 ヤ、パー72) で最終日の決勝ラウンドが行われ、この日 67 で回った 48 歳の大塚覚 (鹿児島国際) が通算 4 アンダー、140 とし、初優勝を飾った。

大塚は首位に 6 打差の 8 位タイで迎えた最終日。出だしの 1 番でいきなりバーディーを奪ってリズムに乗り、計 7 バーディー、2 ボギーの 67 でホールアウト。初日、松村康博 (湯の浦、45 歳) とともに首位タイと 3 連覇に向けて順調なスタートだった荒川英二 (福岡雷山、42 歳) は 17 番まで、後続に 1 打差をつけて首位を維持していたが、最終 18 番 (パー 4) でダブルボギーをたたいて後退、3 年連続優勝は成らなかった。



逆転で獲得した初タイトルに笑顔の大塚覚

気温 30 度超 真夏日の戦い



最後の詰めを欠き 2 位に終わった荒川英二

競技には 127 選手 (欠場 6 人) が出場。台風 24 号の接近で心配されたものの、無事に日程を消化した。

そんな中、9 日の初日は 5 アンダーで回った荒川と松村が後続に 4 打差をつけて首位に立った。86 人が決勝ラウンドに進出した最終日は、気温が 30 度を超す真夏日という異常な暑さの中での戦い。荒川は 2 番 OB でダブルボギーとしたものの、その後は 3 バーディー (1 ボギー) でばん回。そのまま逃げ切るかと思われたが、最終 18 番 (パー 4) で第 1 打を右の林に入れるトラブルでダブルボギー、逆転を許して 1 打差の 2 位に終わった。松村は前半、4 ボギーと崩れ、この日 2 アンダー、70 で回った日高雅司 (宮崎国際、36 歳) とともに通算 1 アンダー、143 で 3 位タイだった。

最終日のコンディションは晴れ、気温 30.5 度、西南西の風 3 m (正午現在)。

11 人が太宰府 GC での日本ミッドアマ出場権獲得

この試合の結果、4 オーバー、148、9 位までの 10 人と、5 オーバー、11 位タイの 4 人のうちマッチングスコアカードで選抜された 1 人の計 11 人が 11 月 20~22 日、福岡県太宰府市の太宰府ゴルフクラブで行われる第 18 回日本ミッドアマチュア選手権競技への出場権を得た。



グリーンサイド

6打差をひっくり返した大塚覚

“遅咲き”の48歳初タイトル

台風一過。晴れてスピードを増したグリーンに、難しいピンの位置。スコアが伸びない中で驚異的な5アンダーで回り、通算4アンダーとしてトップに躍り出た大塚覚（さとる）。アテストを終えたところを捕まえて話を聞いても、「まだまだ後ろの組がいるから…」とあくまでも控えめだった。

その後ろの組には最終組に荒川英二がいた。荒川は過去2年連続優勝。今大会も初日から5アンダーをマークして首位タイと好発進しており、大塚に取材している時点でも通算5アンダーを維持という状況は変わらなかった。そのまま1打差で荒川の逃げ切りかと思われた。

しかし、ゴルフはホールアウトするまで何が起こるか分からない。最終18番（パー4）で荒川は第1打を右に吹かし、木の間に。9番アイアンでのアプローチは前方の木の枝に触れ、再び樹間に落ち、第3打は転がしてグリーン花道に運ぶのが精いっぱいだった。“寄せワン”のボギーでプレーオフ。しかし、アプローチはピン上3m。最後のホールでミスが続いた荒川は万事休した。

多くのゴルフ仲間祝福を受けてやっと表情を崩した大塚。改めてラウンドを振り返ってもらったら、「アイアンが狙ったところに打てたし、うまく安全運転でいけたかなと思う」と言った。加えて、初日はしっくりこなかったパッティングが、この日は「少しゆっくりリストロークしたのがよかった」。1番で2mの下りスライスラインをねじ込んで、「結果的にあれでリズムに乗れた」と大塚だ。終わってみれば7バーディーというチャージだった。

鹿児島で金属関係の製造業を営む技術者。30歳のころ、取引先に勧められてクラブを握ったのが始まりだった。競技は九州アマなどに出場していたが、目立った成績は残していなかった。九州ミッドアマは昨年、初出場で6位タイに入り、日本選手権にもコマを進めたが、予選落ち。それが今回、突然開花してのビッグタイトルだったのだ。

実は大塚は今年、ぶっつけ本番での九州ミッドアマだった。東京国体の成人男子の部に鹿児島県代表で出場。日程が取れず、前日の熊本入りで練習ラウンドをこなすつもりだったが、台風接近で中止。「目標は日本ミッドの出場権。（来年のシード権が取れる）5位以内に入ればいいかなと思っていた」そうだ。

その日本ミッドアマは今年、太宰府GCが舞台。「九州で行われるし、何としても出たかった」と言い、この日のゴルフと同様、無欲で挑むつもりだ。

勝利目前で自滅し2位の荒川英二 18番は風が右目から吹いてはいたけど、プッシュアウト気味に出ていった。第2打は9番アイアンで木を越えられるはずだったが、トップしてしまった。この悔しさは日本選手権で晴らしたい。